

担当職員に徹底してほしいこと

- 目的と目標の区別、問題と課題の区別、分析と解析の区別
- Planまでのプロセス（目的・目標・問題・課題の区別）
- 「WHY思考」の定着
- PREP法（結論 → 理由 → 具体例 → 結論）
- ガントチャート（行動への道筋と経過確認）
- 主体性と自主性の区別
- ICTを活用したテキストベースでのコミュニケーションとフィードバック（Slack・Gmail・Google classroomなど）
- ラーニングピラミッド（他の人に教える・自ら体験する・グループ討議）
- すぐに拍手をして全員で認め合う空間デザイン（即時強化・内発的報酬と外発的報酬を意識）
- 心理的安全性「ストレッチゾーン（ラーニングゾーン）」
 - （1）怒らない、否定しない、腕組みしない、足組みしない、同じ目線と立場で話す。
 - （2）共感と受容→質問→要約
 - （3）「さしすせそ」の徹底（さすが・知らなかった・すごいね・センスあるね・そうなんだ）
 - （4）やらせるのではなく、やってみせる。
 - （5）教えるのではなく、「気付き」を与える。
 - （6）どんな結果であろうと改善のための指標として捉える。
 - （7）「問題がないことが問題」「問題が見えないことが問題」と考えて、行動の成功や失敗を評価として捉えない。
 - （8）呼び捨てにしない「くん・さん」で呼ぶ

成功や失敗までのプロセスが評価対象です